

平成29年度SSH課題研究発表会 審査員・来賓の皆様からの講評(要旨)

平成29年6月14日

射場厚先生(生徒へ向けての助言 九州大学 教授)

○限られた時間の中で研究をし、結果を求められる。大変だとは思いますが研究とはそういうものです。人それぞれ、持って生まれた能力は決まっている。そして、生まれ持った能力の一部しか自覚できていない。自分の良さ、適性に気づき、どんなことなら楽しいと思えるのか？ということをしっかり見つけて欲しい。

○これは、沢山勉強すれば良いとか、先生のいう事を聞くと良いとかいう事ではなく、沢山アクションを起こすことで見つけられます。とにかく出来そうな事は何でも取り組んでみて、そのうちの大半は挫折してしまうかもしれない。自分に向いているものは何も無いんじゃないかなあと思うかもしれない。しかし、もしかしたらその中に多分これは自分としては能力を少し持っているんじゃないかと思えるささやかなものに、しがみつくだいに取り組みで欲しいと思います。

○よく、将来の理想像を語られると思いますが「世界のトップになって欲しい。」とか、全員がそうになったら会社はつぶれてしまいます。得意、不得意があって人それぞれでいい。だからチームを組んでやっていく。これからは自分の個性を磨く、自分の中にあるよさを見つけることを一生懸命やって欲しいと思います。

○研究をしていると世界の研究者とやり取りをします。時差があるので、昼夜を問わずメールでやり取りをする。グローバル化とか始まる前からそういうものです。私は仕事のツールとして英語を使っています。英語は大事です。ですが、多くの人が母国語で話をして感じて考えます。サイエンスのいろいろな事象も母国語で考えています。自分たちの文化でサイエンスを出来るのはすごく幸せです。物を考える時に自分たちがサイエンスをするうえで、何が一番有利か？という事を忘れずに、日本語を大事にしてください。日本語が出来た上で英語もできるといいですね。

山野敬士先生(英語特別賞講評 別府大学 准教授)

○皆さん英語を話す上ですごく完璧な文法を使っていました。これが一番印象深かったです。

○英語を話す上で一番重要なことは何だと思えますか？発音でしょうか？文法でしょうか？

私は自信だと思えます。自信をつけるためには沢山練習しないと行けません。一生懸命やる為には好きにならないといけません。好きなことには一生懸命取り組めると思えます。

○これからもサイエンスとイングリッシュに取り組んでください。

小野充之先生（審査委員長講評 三隈中学校 教諭）

○どの班も目的をしっかりと示しているが、こんな風にやりましたと言っているが途中で終わっていて非常に消化不良です。ここまでこういう構想でやっていて、ここまでいっています。ここに焦点を当てていますという事をもっと言っている。

○生物分野は限られた期間で一回失敗したら取り返しが出来ないというものもあります。条件整備の所の研究も必要ですが、そこをあえて飛ばして、そこからの部分を発表するしかないのではないかと自分たちが行っている研究の構想力をしっかりと身につけて、最終的にはここに持っていくんだという所を目指して条件整備をしていただきたいと思います。

○花粉の研究はミツガシワを残す為にどうしたらいいかという所から始まったのですが、途中から年代測定や環境に特化してしまい、ミツガシワが突然出てきたような印象を受けました。

○エリンギについては、今回は目的を絞ったのがよかった。日田の余っている杉をどう活用するか？というところが良い。ただ、いくつか論理に飛躍があるように感じました。なぜそう感じたのかという一番重要なデータを飛ばしていたので、そこは示して欲しかったです。

鈴木清史様（総評 国立研究開発法人 科学技術振興機構 主任調査員）

○生徒の皆さんには今、自分が置かれている幸せな状況をよくかみ締めてもらいたい。国から一千万円近いお金を貰っている、その理由も考えてもらいたいと思います。

○AI が世界有数の棋士に勝ってしまい、そのうちコンピューターが世界を支配するのではないかと言われています。世界が新しい産業革命を向かえ日本は少子化が進んでいる。日本を維持する為に SSH の改革だけではなく、高大接続改革も行われています。義務制の方では、文部科学省のいう事をよく聞いてアクティブラーニングが進んでいます。大学では国が補助金をつかんだから国のいうとおりにやらないとお金がもらえないから国の言う通りに大学改革を行ってきた。高校はどうかというと、受験があるから受験に対応した授業をしないわけにはいかない。センター試験で点が取れる授業ばかりしていた。そこで、もうセンター試験やめちゃうぞ。大学入試改革もしたのだから、高大接続改革をするぞ！というその真只中に君たちはいます。明治維新以来の大改革とされています。

○明治維新大変だったと思います。でも特別なことをしていたわけではなく一人ひとりが志を持って頑張っていた。一人ひとりが頑張った結果、列強国に支配されることなく日本の国を保つことが出来た。今も同じようなことが行われたいいけないんですね。

○皆さん一人ひとりが今の課程でこの時代に乗り遅れないで、もう英語なんかやりたくないよと言わないで、その場その場で一步一步、皆ががんばることで日本という国はまた、間違いなく繁栄を続けていけると思います。

I should have looked forward to future and study more at high school.